



2018年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2018年8月10日

上場会社名 株式会社JMC

上場取引所 東

コード番号 5704 URL <http://www.jmc-rp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 大知

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 篠崎 史郎

TEL 045-477-5751

四半期報告書提出予定日 2018年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 証券アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 2018年12月期第2四半期の業績(2018年1月1日～2018年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年12月期第2四半期	1,271	77.1	164		169		111	
2017年12月期第2四半期	717		3		9		4	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年12月期第2四半期	42.80	40.85
2017年12月期第2四半期	1.62	1.52

(注) 当社は2016年12月期第2四半期については、四半期決算短信を作成していないため、2017年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率については、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2018年12月期第2四半期	2,772	1,942	70.1	746.03
2017年12月期	2,455	1,831	74.6	703.23

(参考) 自己資本 2018年12月期第2四半期 1,942百万円 2017年12月期 1,831百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年12月期		0.00		0.00	0.00
2018年12月期		0.00			
2018年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年12月期の業績予想(2018年1月1日～2018年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,500	53.5	260		261	810.2	172	982.2	66.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(2018年8月10日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2018年12月期2Q	2,604,000 株	2017年12月期	2,604,000 株
2018年12月期2Q	50 株	2017年12月期	50 株
2018年12月期2Q	2,603,950 株	2017年12月期2Q	2,600,511 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、2018年8月21日(火)にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の動画については、当日使用する四半期決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

四半期決算補足説明資料は、説明会開催後速やかに日本取引所グループウェブサイト上の「東証上場会社情報サービス」に掲載いたします。

(その他)

当第2四半期より、日付の表示を和暦から西暦へ変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第 2 四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景に雇用や所得情勢が堅調に推移し、緩やかな回復基調にあるものの、世界経済においては、米国の保護主義的な通商政策による世界経済の減速等、国際金融市場の混乱など、不透明感も顕在しております。

このような経済状況のもと、当社は幅広い業種の試作品から最終製品づくりのトータルサポートを主たる業務としており、その市場環境は、前事業年度第4四半期会計期間から需要の回復傾向が見られ、当第2四半期累計期間においても需要が堅調に推移し、当社が展開する「3Dプリンター出力事業」（3Dプリンターによる試作品、各種部品・商品の製造、販売）、「鋳造事業」（砂型鋳造による試作品、各種部品の製造、販売）、「CT事業」（産業用CTの販売および検査・測定サービスの提供）からなる3事業の当第2四半期累計期間における売上高は、概ね堅調に推移しました。

鋳造事業におきましては、既存顧客に対して戦略的に営業資源を投入し、継続的な受注確保に努めた結果、EV（Electric Vehicle＝電気自動車）化案件や技術的に高難易度の案件の獲得にもつながりました。

また、生産管理及びコスト管理を強化し、前事業年度の減益の主因となった外注委託費増加を抑制し、案件の利益率増加に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高1,271,615千円（前年同四半期比77.1%増）、営業利益164,965千円（前年同四半期営業利益3,793千円）、経常利益169,212千円（前年同四半期経常利益9,613千円）、四半期純利益111,454千円（前年同四半期四半期純利益4,201千円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 3Dプリンター出力事業

3Dプリンター出力事業におきましては、市場環境が堅調に推移したなかで、当社の強みである「短納期」、「高品質」を訴求した営業活動と製造活動を展開し、幅広い業種からの受注獲得が実現できたことや、当社製品である心臓カテーテルシミュレーター「HEARTROID（ハートロイド）」において、展示会開催やメディアへの露出増により認知度が高まってきており、当第2四半期累計期間の売上高に貢献いたしました。

また、当第2四半期累計期間では、医療実体モデルの販売が順調に推移いたしました。

この結果、3Dプリンター出力事業の売上高は258,049千円（前年同四半期比32.4%増）、営業利益は68,553千円（前年同四半期比54.1%増）となりました。

② 鋳造事業

鋳造事業におきましては、新工場であるコンセプトセンター第5期棟（長野県飯田市）が、2018年1月初旬に稼働を開始し、当第2四半期累計期間は鋳造工程の製造能力が段階的に向上してまいりました。

また、コンセプトセンター第5期棟の2階には、社内コミュニケーションの活性化と能力開発を支援するため、デジタル学習スペースを備えた従業員ラウンジを新設いたしました。

当第2四半期累計期間は、試作及び少量量産の市場環境が堅調に推移したことと、EV化案件の受注割合の増加にともない製作する試作部品数が増加し、また、難易度の高い重要保安部品案件等の受注増加もあり、前年同四半期比で増収増益となりました。

この結果、鋳造事業の売上高は753,092千円（前年同四半期比67.7%増）、営業利益は212,605千円（前年同四半期比137.1%増）となりました。

③ CT事業

CT事業におきましては、検査・測定サービスの需要に波があったものの、当社の高度な撮像・データ処理及び解析技術と、高性能な産業用CTのラインナップ増加により、当社他セグメントの継続的取引先から大型受注を獲得いたしました。また、産業用CTの販売もあり、前年同四半期比で大幅に増収増益となりました。

この結果、CT事業の売上高は260,474千円（前年同四半期比253.4%増）、営業利益は72,833千円（前年同四半期比76.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は1,394,002千円となり、前事業年度末に比べ201,348千円増加いたしました。これは主に未収還付法人税等が11,509千円、受取手形及び売掛金が9,967千円減少したものの、現金及び預金が253,577千円、仕掛品が5,416千円増加したことによるものであります。

固定資産は1,378,162千円となり、前事業年度末に比べ115,536千円増加いたしました。これは主に機械及び装置が21,090千円減少したものの、リース資産が92,358千円、建物が17,259千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は2,772,165千円となり、前事業年度末に比べ316,885千円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は482,264千円となり、前事業年度末に比べ133,056千円増加いたしました。これは主に買掛金が82,227千円減少したものの、未払法人税等が68,732千円、未払金が39,394千円、短期借入金金が28,058千円及びリース債務が21,460千円増加したことによるものであります。

固定負債は347,279千円となり、前事業年度末に比べ72,374千円増加いたしました。これは主に長期借入金が11,132千円減少したものの、リース債務が74,667千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は829,543千円となり、前事業年度末に比べ205,430千円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は1,942,622千円となり、前事業年度末に比べ111,454千円増加いたしました。これは四半期純利益を111,454千円計上したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税引前四半期純利益を168,869千円（前年同四半期9,612千円）計上し、有形固定資産の取得による支出、リース債務の返済による支出、長期借入金の返済による支出があったものの、減価償却費、セール・アンド・リースバックによる収入等により、前事業年度末に比べ253,577千円増加し、当第2四半期累計期間末には718,838千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動の結果獲得した資金は317,918千円（前年同四半期は22,160千円の獲得）となりました。これは主に、仕入債務の減少額82,227千円、たな卸資産の増加額4,682千円、法人税等の支払額3,649千円、利息の支払額2,271千円等の減少があったものの、税引前四半期純利益168,869千円、減価償却費89,386千円、未払消費税等の増加額33,336千円、未収消費税等の減少額25,671千円、売上債権の減少額9,967千円、法人税等の還付額8,372千円等の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は140,068千円（前年同四半期比65.2%減）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出139,353千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動の結果獲得した資金は75,727千円（前年同四半期比12.4%増）となりました。これは主に、リース債務の返済による支出19,542千円、長期借入金の返済による支出12,006千円があったものの、セール・アンド・リースバックによる収入82,215千円、短期借入金の純増額28,058千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2017年2月13日に公表いたしました2018年12月期通期の業績予想の修正をしております。

詳細につきましては本日（2018年8月10日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本資料に記載されている業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2017年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	465,260	718,838
受取手形及び売掛金	504,508	494,540
仕掛品	33,589	39,005
原材料及び貯蔵品	57,272	56,538
未収還付法人税等	11,509	—
その他	120,635	85,193
貸倒引当金	△121	△113
流動資産合計	1,192,654	1,394,002
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	655,789	673,048
機械及び装置（純額）	215,528	194,437
土地	116,456	116,456
リース資産（純額）	151,972	244,331
その他（純額）	35,381	63,947
有形固定資産合計	1,175,128	1,292,221
無形固定資産		
投資その他の資産	38,449	33,961
破産更生債権等		
破産更生債権等	—	233
その他	49,048	51,979
貸倒引当金	—	△233
投資その他の資産合計	49,048	51,979
固定資産合計	1,262,626	1,378,162
資産合計	2,455,280	2,772,165
負債の部		
流動負債		
買掛金	164,733	82,505
短期借入金	—	28,058
1年内返済予定の長期借入金	24,012	23,138
リース債務	53,224	74,685
未払金	88,346	127,741
未払法人税等	7,024	75,756
製品保証引当金	2,379	2,418
その他	9,487	67,960
流動負債合計	349,207	482,264
固定負債		
長期借入金	113,613	102,481
リース債務	123,110	197,778
資産除去債務	28,602	36,261
その他	9,578	10,758
固定負債合計	274,905	347,279
負債合計	624,112	829,543
純資産の部		
株主資本		
資本金	758,092	758,092
資本剰余金	745,092	745,092
利益剰余金	328,068	439,523
自己株式	△85	△85
株主資本合計	1,831,167	1,942,622
純資産合計	1,831,167	1,942,622
負債純資産合計	2,455,280	2,772,165

(2) 四半期損益計算書
(第 2 四半期累計期間)

(単位 : 千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 2017年 1 月 1 日 至 2017年 6 月 30 日)	当第 2 四半期累計期間 (自 2018年 1 月 1 日 至 2018年 6 月 30 日)
売上高	717,830	1,271,615
売上原価	451,688	803,405
売上総利益	266,142	468,210
販売費及び一般管理費	262,348	303,245
営業利益	3,793	164,965
営業外収益		
受取利息	3	2
補助金収入	607	7,227
業務受託料収入	7,575	1,094
その他	365	527
営業外収益合計	8,551	8,850
営業外費用		
支払利息	2,725	2,234
為替差損	—	2,292
その他	5	75
営業外費用合計	2,731	4,602
経常利益	9,613	169,212
特別損失		
固定資産売却損	0	343
特別損失合計	0	343
税引前四半期純利益	9,612	168,869
法人税、住民税及び事業税	4,276	66,538
法人税等調整額	1,134	△9,123
法人税等合計	5,411	57,415
四半期純利益	4,201	111,454

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 2017年 1月 1 日 至 2017年 6月 30日)	当第 2 四半期累計期間 (自 2018年 1月 1 日 至 2018年 6月 30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	9,612	168,869
減価償却費	70,422	89,386
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△593	39
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△704	225
受取利息及び受取配当金	△3	△2
支払利息	2,725	2,234
固定資産売却損益 (△は益)	0	343
売上債権の増減額 (△は増加)	26,406	9,967
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,829	△4,682
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,766	△82,227
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△30,211	33,336
未収消費税等の増減額 (△は増加)	—	25,671
その他	△55,447	72,303
小計	24,144	315,464
利息及び配当金の受取額	3	2
利息の支払額	△2,756	△2,271
法人税等の支払額	△3,160	△3,649
法人税等の還付額	3,928	8,372
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,160	317,918
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△300	—
有形固定資産の取得による支出	△392,125	△139,353
有形固定資産の売却による収入	150	—
無形固定資産の取得による支出	△9,791	△400
敷金及び保証金の差入による支出	△612	△314
敷金及び保証金の回収による収入	330	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△402,349	△140,068
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	28,058
長期借入れによる収入	120,000	—
長期借入金の返済による支出	△17,776	△12,006
セール・アンド・リースバックによる収入	—	82,215
リース債務の返済による支出	△31,370	△19,542
割賦債務の返済による支出	△4,387	△2,998
株式の発行による収入	1,000	—
自己株式の取得による支出	△85	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	67,381	75,727
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△312,807	253,577
現金及び現金同等物の期首残高	1,217,196	465,260
現金及び現金同等物の四半期末残高	904,388	718,838

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	3D プリンター 出力事業	鑄造事業	C T 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	194,968	449,150	73,712	717,830	—	717,830
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	194,968	449,150	73,712	717,830	—	717,830
セグメント利益	44,475	89,686	41,206	175,368	△171,575	3,793

(注) 1. セグメント利益の調整額△171,575千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	3D プリンター 出力事業	鑄造事業	C T 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	258,049	753,092	260,474	1,271,615	—	1,271,615
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	258,049	753,092	260,474	1,271,615	—	1,271,615
セグメント利益	68,553	212,605	72,833	353,991	△189,026	164,965

(注) 1. セグメント利益の調整額△189,026千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。